

医療法人聖和錦秀会 阪本病院 主催

2009年度 第1回 阪本病院公開セミナーのご案内

謹啓

皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より医療法人聖和錦秀会阪本病院に皆様の温かいご支援とご理解を頂きまして、心より感謝申し上げます。この度、当院では精神科治療の活性化のために、関連の財団法人阪本病理学研究所の協賛を得て、学術セミナーを企画させていただくことになりました。つきましては、「2009年度第1回阪本病院セミナー」のご案内を申し上げます。精神医療・看護・福祉の現場で臨床に取り組んでおられる皆様、および現在それらの分野について学んでおられる皆様と、共に学び、理解を深めることができる機会となりますことを願っております。

第1回目は「こころとからだのメッセージを感じる～自分にやさしく。みんなにやさしく。～」をテーマに、関西大学臨床心理専門職大学院教授の池見陽先生をお招きしております。援助の基本は相手を癒し元気にするのですが、そのためにはまず援助者が自分の心と身体が発する声に耳を傾け、自分を慈しみ、健やかであることから始まります。援助者のメンタルヘルスおよび臨床現場での実践的な心理療法について池見先生にお話し頂く予定です。また、心理療法の技法のひとつであるフォーカシングでは、「体にうすうすと感じられるすぐに言葉にならない感覚」に注意を向けることで、自分や相手への理解を深めようとしています。誰にでも分かりやすく、やさしく、それでいて深い池見先生のワークショップでは、臨床現場や日常生活で生かせるフォーカシングを実際に体験していただくことができます。

なお、セミナー終了後には皆様の親睦を深めて頂く機会としまして、ささやかながら懇親の会を予定しております。広く関連分野の皆様にご参加頂けますよう心よりお待ち申し上げます。

謹白

2009年12月吉日

医療法人聖和錦秀会 阪本病院
院長 桂田 俊武

阪本病院公開セミナー事務局
代表 松下 進一